

平成 30 年度 アップール会本部役員会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 4 月 20 日 (金) 14 時～17 時

2. 開催場所 東洋食品工業短期大学 会議室

3. 出席者

会長	野上 健次
副会長	佐々木 幸治
同	田中 喜徳
同	松原 清俊
会計幹事	斎藤 至康
北海道支部長	豊田 勝己
東北支部長	三枝 通晃
関東支部長	篠原 龍浩
信越支部長	中村 正和
静岡支部長	石田 雅則
名古屋支部長	岡本 雅志
近畿支部長	長塚 洋二郎
中国支部長	竹内 毅
四国支部長	西山 正一
九州支部長	原 裕久
会計監査	本間 欽吾 (16 名)

欠席者

会計監査	中野 栄介
------	-------

役員会開催に先立ち

—後藤学長から短大の近況報告について—

3 月に卒業した 56 期生 37 名を含め卒業生が 1,886 名となり、3 年後には 2,000 名に達する事になり、食品産業界の中核を担う方々を輩出してきた素晴らしい学校だと思っております。

今年度の就職については、従来からの社会人の学生の他、近年ではある企業が高校卒業予定者を内定した段階で本学の試験を受け、合格した時点でその企業の社員として 2 年間勉強させるという傾向が生まれている。その人達を除いて就職対象者 31 名中 30 名が就職した。

今年度 58 期生の入学状況は、志願者数が前年、前々年に比べ減少したが入学者は 37 名で、結果在學生数は 75 名（男性 59 名・女性 16 名）となっています。

社会人向け講習会のうち「包装食品工学総合コース」は文科省から履修証明プログラムの認定を受けられ、短期大学では本学だけであり、今後受講者を増やしていきたい。

外国人向け短期研修会は、タイのランシット大学の学生が受講、社会人向けではタイ・カンボジア・インドネシアから受講にきています。

本学における研究テーマは「産業界に役立つ」事を主眼に、受託研究・共同研究として取り組んで、産業界での課題を学生と一緒にやっていきたいと考えています。

教職員人事については、福島学科長が退職され鈴木浩司氏が就任、岡内事務室長が退職され福森正明氏が就任、西田総務部長が退職され村岡浩幸氏が就任、他に教員 3 名の交代人事があった。

教育の質向上の取り組みとしては、「包装食品製造にとって必要な事とは」を念頭に、自分の興味に従って将来設計を含めた分野を選択して、その分野を強化して卒業して行く学生を育てることを考えています。

本学を取り巻く環境については、地方に所在のある学校に対する文科省の締め付けが厳しくなり、短大については地域との結びつきが強い専門分野を優遇するような施策が目立つ為、対応策として包装食品業界のニーズを取り込み実践的教育を推進して、産業界との結びつきを強化し、本学の存在意義をアピールしていきたいと考えています。

—今回は特別に短大微生物グループの稲津先生から「共同研究先の募集」と言うテーマでプレゼンがありその内容について—

本グループは衛生管理の向上と変敗事故防止を目的として、工場内の環境調査や変敗原因菌の特定解析を行い、得られた成果を外部発表して社会に貢献をしており、この様な事業に賛同が得られる共同研究先を広く募集しています。

定刻 野上会長、議長席につき本日役員 2/3 以上の出席でありますので、「アピール会会則第 16 条」により役員会は成立した旨を告げ、開会を宣言。

4. 議題

第 1 号議案 平成 29 年度収支決算報告の件

斎藤会計幹事より別添資料 1 に基づき報告、併せて本間会計監査より監査

報告があり異議なく承認された。

第2号議案 平成29年度会費納入状況報告の件

齋藤事務局長より別添資料2に基づき報告、原案通り承認された。

第3号議案 平成29年度支部活動報告の件

各支部長より29年度の支部活動および30年度の活動計画について報告があった。

「北海道支部」

昨年は東洋製罐（株）が創立100周年の節目となるため、9月21日にアップール会として納沙布岬に在る高碕達之助氏の顕彰碑に献花を行う目的を兼ね、根室にて支部総会を開催、会員出席者は5名で本部からは野上会長と佐々木副会長が出席した。

案内状の返信が相変わらず少なく、若い人の出席がない状態が数年続いている。

今年度は秋に札幌において総会を行う予定をしており、日時等の内容について決まり次第本部と相談したい。

「東北支部」

昨年5月13日に宮城県多賀城市で支部総会を開催 会員出席者は28名。学校からは後藤先生、本部からは高倉氏（T-7期生）が講演の為出席した。

今年度は5月13日に新支部長のお膝元福島市にて総会開催を予定しており、3月の時点で会員に事前通知をしている。

「関東支部」

昨年は通常夏場に総会を開催していたのを、2月に29年度の支部総会を前倒しで開催した。

6月には幹事会を開催して秋に工場見学を予定していたが、見学先の企業と日程の調整がつかず断念した。

今年の2月に幹事会を開き、30年度の支部総会開催について打ち合わせ、7月か8月に開催予定で学校に講師派遣等々で打診中である。

関東支部は今回の支部総会で役員改選の為、6月に幹事会を開き改選の事前打ち合わせを行う。

「信越支部」

昨年4月8日に支部総会を開催。

今年は10月又は11月に総会開催予定で調整中である。

支部役員の後任人事の選考が難しいのが現状である。

「静岡支部」

昨年 5 月に学校からは八木先生と本部から高倉氏が出席してそれぞれ講演が行われた。

毎年総会への出席者が少なく葉書を送っても返事がなく、電話をしても来ないので、会社単位で攻めようと社長宛または卒業生のトップに打診したが、個人個人の判断で出欠を決めるので全く効果がなかった。

今年の総会開催に向けては、従来通りの案内では出席者が限られ、特に若い人はアップール会の存在意義が分からないのが現状で、会費を納める人も少なく、幹事会を開いて別の形で出席者を増やす様考えていかなければ、支部総会の存続が危ぶまれる。

「名古屋支部」

去年は支部総会開催日程まで決め段取りをしたが、支部長の都合で出来なかった。

今年についても段取りがつきにくく難航している。

「近畿支部」

昨年 10 月 13 日にキューピー（株）の新神戸工場の見学と同工場支部総会を開催。会員出席者は 18 名（男性 15 名・女性 3 名）。

学校からは福島学科長が出席、短大の近況について報告があり、他に樋口事務職員も出席。

相変わらず会員の人数が多い割には出席者が少なく、メンバーも固定化している。

今年は 11 月に UCC 上島珈琲（株）の工場見学を兼ねて総会開催を予定している。

役員人事については近い将来女性の支部長就任も視野に入れている。

「中国支部」

過去の総会出席者は 10 名程度で広島在住の会員が大半であり、3 年前に発生した広島の豪雨災害以来去年も含め支部総会を実施してない。

東洋製罐（株）広島工場の組織変更に伴い、永年支部の事務局として携わっていただいたが出来なくなり、事務業務を支部内で行う事となった。今年は秋に総会を開催して、役員人事を含め今後の総会のあり方を根本的に見直していく考えを持っている。

「四国支部」

去年は 7 月 8 日に香川県琴平で支部総会を開催。会員出席者は 7 名。

学校からは奈賀先生による近況報告と、本部からは高倉氏によるコーヒー

に纏わる講演があった。
今年は7月に総会開催予定。

「九州支部」

昨年9月23日に久留米で支部総会を開催。会員出席者は12名。
学校からは朝賀先生が出席され講演が行われた。

今年は6月頃に幹事会を行い、支部総会開催等の打ち合わせをする。

第4号議案 平成30年度収支予算書(案)の件

斎藤会計幹事より別添資料3に基づき報告、原案通り承認された。

第5号議案 役員組織等見直しの件

① 副会長人事について

羽場副会長が体調が思わしくなく職を全う出来兼ねるとの理由で、本年3月31日付で退任され現在3名となっているが、今後の人員について、経費面および副会長の職務内容の見直し等の議論を重ねた結果、3名体制でいくとの結論となった。

についてはアップール会会則第17条の2の「副会長4名」を「副会長3名」に改定する事です承を得た。

② 支部総会開催に伴う学校への講師派遣依頼の件

従来より「学校の近況報告」のみの依頼であっても、先生が支部総会に出席していただいていたが、先般後藤学長より諸般の事情で、近況報告だけの場合は出席は難しく、資料提供のみとしたいとの申し入れがあり、議論を重ねた結果、当日出席する本部役員が近況報告を説明する事です承を得た。

講演依頼の場合は従来通りである。

③ 大規模災害における会員への支援活動の件

平成27年の役員会で「自然災害による会員への支援活動」が議題となり、同年11月に「ボランティアネットワーク」を構築、現在63名の会員が登録されているが、年と共に高齢化の問題と新会員への登録の募集について議論を重ねた結果、5年目を目途に登録年齢については65歳で打ち切り、新会員に対しては登録募集を行う事です承を得た。

第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件

今年は平成28年の役員改選後2年を経過したので、アップール会会則第19条の「役員改選」の年であり、それにより議論され次のように決まりました承を得た。

退任・・・羽場正信副会長

交代・・・野上健次会長⇒西山正一会長 (T-20期生 四国支部長兼任)

富樫健東北支部長⇒三枝通晃東北支部長 (T-25期生)

また会則第 27 条の「相談役」に野上健次前会長が就任した。

「平成 30 年度役員」

会長	西山 正一（新任）
副会長	佐々木 幸治（留任）
副会長	田中 喜徳（留任）
同	松原 清俊（留任）
会計幹事	斎藤 至康（留任）
幹事	
北海道支部長	豊田 勝己（留任）
東北支部長	三枝 通晃（新任）
関東支部長	篠原 龍浩（留任）
信越支部長	中村 正和（留任）
静岡支部長	石田 雅則（留任）
名古屋支部長	岡本 雅志（留任）
近畿支部長	長塚 洋二郎（留任）
中国支部長	竹内 毅（留任）
四国支部長	西山 正一（留任）
九州支部長	原 裕久（留任）
他に	
会計監査	本間 欽吾（留任）
同	中野 栄介（留任）
相談役	野上 健次（新任）

以上、本日の議案審議全て終了し閉会。

[資料編]

- 別添資料 1 平成 29 年度 アップール会本部 収支決算報告書
- 別添資料 2 平成 29 年度 支部活動助成金 支払明細書
- 別添資料 3 平成 30 年度 アップール会本部 収支予算書(案)

平成29年度 アップール会本部 収支決算書

[自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金額(円)	摘 要	金額(円)
前期繰越金	5,699,228	支部活動助成金(振込料含む)	274,796
第57期生入会金 (@30,000×37名)	1,110,000	本部役員会開催費	563,869
		支部総会出席役員旅費等	467,126
年会費 (@2,000×396口)	792,000	学生会バスツアー援助金	287,990
自動振込 139口		災害援助ボランティア活動関係費	5,924
振替振込 253口		会費振込用紙及び封筒作成費	145,044
現金 4口		会費納入願書等郵送費	90,574
役員懇親会費	53,000	年会費4名返金(振込料含む)	9,599
預金利息	649	年会費振込手数料	30,685
郵便局 641		振替振込手数料 27,210	
三井住友銀行 8		自動振込手数料 3,475	
		卒業式・入学式祝電代	3,084
		会計・事務処理作業費等	265,520
		雑費	2,555
		次期繰越金	5,508,111
合 計	7,654,877	合 計	7,654,877

資料 2

平成30年度 アップール会支部活動助成金 支払明細書

(平成29年度本部会費納入ベース)

支払日 平成30年4月20日

支部名	会員数	会費入金 口数	入金率 %	支部活動助成金		受領印
				単価(円)	助成額(円)	
北海道	27	6	22	700	4,200	
東北	161	67	42	700	46,900	
関東	235	62	26	700	43,400	
信越	44	15	34	700	10,500	
静岡	127	32	25	700	22,400	
名古屋	88	18	20	700	12,600	
近畿	457	95	21	700	66,500	
中国	78	25	32	700	17,500	
四国	125	29	23	700	20,300	
九州	228	40	18	700	28,000	
計	1,570	389	25	700	272,300	

平成30年4月20日

平成30年度 アップール会本部 収支予算書(案)

[自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額(円)	摘 要	金 額(円)
前期繰越金	5,508,111	支部活動助成金	272,300
第58期生入会金 (@30,000×36名)	1,080,000	本部役員会開催費	600,000
年会費 (@2,000×400口)	800,000	支部総会出席役員旅費等	300,000
役員懇親会費	60,000	学生会バスツアー援助金	300,000
預金利息	710	災害援助ボランティア活動関係費	6,000
郵便局	700	会費振込用紙及び封筒作成費	0
三井住友銀行	10	会費納入願書等郵送費	100,000
		年会費振込手数料	31,400
		振替振込手数料 28,000	
		自動振込手数料 3,400	
		卒業式・入学式祝電代	3,000
		会計・事務処理作業費等	260,000
		雑費	5,000
		次期繰越金	5,571,121
合 計	7,448,821	合 計	7,448,821